

診断結果レポート（保存版）

あなたのお子さんの
現在もっとも戻りやすい通常モードは

挑戦モード です



モードに「良い・悪い」はありません。

どのモードにも、心や行動を守る大切な役割があります。

ただし、モードによって学びの進みやすさには違いがあります。

そして、これらには成績が伸びやすくなる“流れ”があります。

学びが進みやすいモードの流れ



ポイント

多くの場合、安心 → 整理 → 挑戦 の流れで、
学びは進みやすくなります。

※ 状態は変化していきます。今は「挑戦モード」でも、環境や関わりによって変わっていきます。

6つのモード一覧表

それぞれのモードの特徴と、家庭で整えたい方向をまとめました。

お子さんの理解とサポートの参考にしてください。

モード	本来の役割	プラスに働く面	行き過ぎると…	家庭で整えたい方向
 挑戦 モード	前に進み 成長する	・難しいことに向かう ・工夫する ・やり直せる	無理しすぎる 突っ走る	結果よりプロセスの 努力を認める
 整理 モード	情報を整理して 理解する	・確認する ・分析する ・順番に考える	考えすぎる 慎重になりすぎる	急がせず 整理する時間を作る
 安心 モード	心と状態を 安定させる	・落ち着く ・受け入れる ・自然に続ける	変化を 避けやすい	否定より理解を 先にする
 比較 モード	自分の位置を 知り、成長に つなげる	・刺激を受ける ・改善点に気づく ・向上心が出る	周囲が気になる 勝ち負けに敏感 になる	他人比較より 成長比較を増やす
 守り モード	心を傷つきから 守る	・危険を避ける ・慎重になる ・無理を止める	言い訳 隠す 避ける 怒る	安心して失敗できる 雰囲気を増やす
 閉じ モード	エネルギーを 守り、回復する	・休む ・刺激を減らす ・消耗を止める	黙り込む 止まる やらなくなる	小さな成功体験を 増やす

大切なこと

どのモードも、お子さんが自分を守り、成長していくために必要な働きです。

中でも「安心→整理→挑戦」の流れをつくるのが、学びを進めるカギになります。

お子さんへのサポートポイント

あなたのお子さんの現在の状態は「**挑戦モード**」が中心です。
やってみたい気持ちが強く、前に進む力が高まっています。
この力が安心して続くように、次のステップに進みやすくなります。

今の状態で起きやすいこと



- 難しいことにも意欲的に取り組もうとする
- 失敗しても立ち直りやすく、やり直せる
- 新しいことを楽しみながら挑戦できる
- アイデアが出やすく、工夫して進める
- 結果にこだわりすぎると、無理をしやすい

家庭でできるサポート（おすすめ3つ）

1 挑戦の気持ちを応援する

小さな挑戦も具体的にほめて、意欲をさらに伸ばしましょう。
「やってみたね!」「工夫したね!」と行動を認めることが大切です。



2 安心して挑戦できる環境をつくる

失敗しても大丈夫な空気をつくり、やり直せることを伝えましょう。
「うまくいなくてもOK」「一緒に考えよう」と声をかけます。



3 振り返りの時間を確保する

どんな学びや気づきがあったかを一緒に振り返り、
次のステップにつなげましょう。整理することで力が定着します。



次の一步の目安



**挑戦
モード**



**整理
モード**



**安心
モード**

整理しやすい環境をつくると、安心がさらに安定し、学びが深まります。



焦らなくて大丈夫です。お子さんのペースで、少しずつ変わっていきます。
あなたの関わりが、一番のサポートになります。